



# 新十津川の「農業」「観光」を育てよう ～しんとつかわで心呼吸。推進協議会会員募集～

問合せ 産業振興課商工観光グループ ☎76・2134

先月号（12月号）では、しんとつかわで心呼吸。推進協議会の紹介をしました。今回は体験に訪れた生徒の感想や実際に体験受け入れを行っている農家さんの体験談をご紹介します。

## 生徒の反応は……

昨年11月に1泊2日で来町した、広島県立城北高校のファームステイ体験後のアンケート結果です。

- ①ファームステイ全体を通して
  - ・とても楽しかった……83%
  - ・楽しかった……17%
- ②体験前に不安だったこと
  - ・農家さんとのコミュニケーション……32%
  - ・仕事や作業が上手くできるか……20%
  - ・田舎での生活……10%
  - ・食事……3%
  - ・特になかった……32%
  - ・その他……3%
- ③体験中、体験後に不安は解消できたか
  - ・解消できた……100%



- ④農業体験での仕事・作業について
  - ・普段することがないことが体験できて満足……46%
  - ・自然の中で仕事・作業ができて良かった……27%
  - ・仕事がなく退屈だった・もっと仕事をしたかった……27%
- ⑤受入農家とのふれあいについて
  - ・とてもいい人で打ち解けられた……96%
  - ・あまり打ち解けられなかった……4%

## 受入農家さんの体験談

●初めて受け入れた生徒（女の子2人）とは、受け入れから10年以上経っていますが交流があり、年2回ほど近況を知らせる手紙が届きます。また、毎回離町時の生徒の清々しい笑顔を見ると受け入れをして良かったなと思います。

体験の受け入れにより、生徒たちの活発な姿に刺激を受け、受け入れ側の私たちの作業にもメリハリが生まれています。食事は、普段と変わらないよう心掛け、地元の農産物を中心としたおかずを用意しています。

今後、都市との交流の灯を消さないように仲間が増えることを願っています。（花月区Sさん）

●生徒たちとの交流は短時間ですが、親しさを覚え、成長を感じることができました。

生徒の寄せ書きなどが届き、嬉しく、励みになります。農業や農家を理解してもらえきっかけにもなりますし、生徒たちの笑顔や明るさに元気をもらっています。（総進区Oさん）

- ⑥農業体験の感想
  - ・北海道の寒さと雪を体感することができ、とても楽しかった。農機の説明や機器の使い方など勉強になった。
  - ・米がおいしかったです。
  - ・みんなと楽しく農家の方の生活を体験できた。
  - ・北海道の雄大な自然とおいしい食事を体感できた。
  - ・ごはんがかなりおいしかった。また食べたい。
  - ・農家の方がいい人だった。農産物がとてもおいしかった。

くおまけく  
新十津川町のいっしょ

## 中央区で自主防災組織による防災研修 非常用電源設備の操作を学び、地域防災マップを作成

昨年11月27日、中央区自主防災会による研修会が行われました。

研修では、自主防災会の役員が講師となり、災害が発生したときに自主的に避難所が開設できるように、発電機を活用した非常用電源設備の操作手順の説明と、中央区内の地域防災マップの作成が行われました。



△発電機の操作説明



△専用ブレイカーの説明

## 非常用電源設備の操作を学ぶ

昨年の9月に新たに設置された非常用電源設備について、発電機や専用のブレイカー、照明、コンセントの操作手順を役員の実演により学びました。

非常用電源設備があることで、停電になったときでもいつものように照明、テレビ、ストーブを使うことができます。

## 地域防災マップの作成

中央区の住宅地図を用いて、災害が発生したときに支援が必要な人（要支援者）が住んでいる場所に赤いシールを、避難を支援することができる人（支援者）が住んでいる場所に青いシールを貼り、要支援者と支援者の位置や割合を確認しました。

このような地域防災マップを作成することで、実際に災害が発生したとき、要支援者を円滑に支援することができそうです。

また、自分たちの手で作成することによって、現状をより深く把握することができそうです。



△地域防災マップ作成

## 自主防災組織を設立しましょう

大規模な災害が発生した場合、役場や消防などの防災関係機関は救助や復旧作業に当たりますが、電話の不通や道路、橋などの倒壊により、活動が遅れることが予想されます。

被害の拡大を防ぐためにも、自分の身は自分で守れるようにすることや近所の人たちとの連携が必要となります。

今回の中央区の防災研修は、災害が発生したときに自分がするべきことは何か、近所の人とはどのような役割を担っているか、ということが明確になり、災害への備えとして大変役に立つものです。

町では自主防災組織の設立を支援していますので、各行政区に自主防災組織を設立して、災害に備えましょう。

問合せ 災害対策事務局（総務課内）

☎76・2131

